



2 月の展示情報

開催中
～ 3/15(日)

Laura Prochowski
Alisha Redmond
作品展「THREES」



抽象風景画・油彩画家である Laura さん、現代クラシック作曲家、ピアニストである Alisha さんによる「自然の共鳴を
探る学際的なコラボレーション『LAND MINDS』と名付けられたプロジェクトは日本においても特

別な意味をもつ”3”という数字に着目し、構想されています。テーマや、色や曲など作品においても 3 つであることが意識され、初めての日本、初めての西会津町で、土地の風土を知り、地元との交流を通して制作されたものです。

西会津の冬景色の中で、あたたかく染み込む色と音楽を奏でています。

開催中
～ 3/22(日)

Kamran Samimi 個展
「記還
- RECOLLECTION -」



昨年 5 月に 1 か月間の滞在制作を行った Kamran Samimi さんによる作品展。土や草を被って”忘れられていた”石や木に焦点を当て、それらと対話を重ねる中で生まれた作品たちです。

Kamran さんが一旦帰国し、芸術村を去った後も、芸術村に残された石や木の作品群は、まるでこの場所の新たな住人のように存在し続けていました。

再び来町して設営を行った作品は、木造のスペースに溶け込み、人工物の中に自然との共生を感じさせます。



石と木が織りなす銀河のような作品をぜひ、ご覧ください。

立春を迎えると暦のうえでは春！
身体も心も動かして、アートに触れてみませんか？

開催中
～ 3/19(木)

フォトスタジオ
[出張展示] スズトヨ写真展

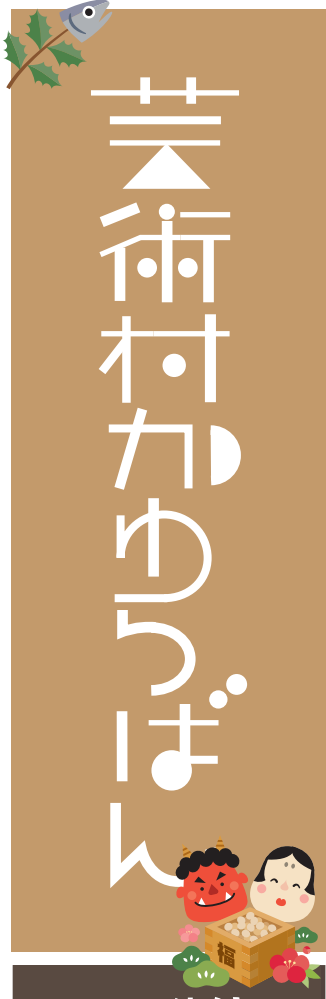
好評のため、秋に続き、冬の写真展も開催中です。
プロの写真が切り取る冬の情景、ぜひ見においでください。



会場 | にぎわい番所ぶらっと(旧野口燃料)
平日 月～金曜 / 9:00-17:00 *最終日3/19は15:00まで

全戸配布

2026
2月号



2 月の休館日

定例休館日(月)(火)

2(月)、3(火)

9(月)、10(火)

16(月)、17(火)

24(火)

23(月・祝)は休まず
開館します。

開館時間：10:00-17:00
入館料：町民無料
*町外の方
大人300円 / 小人100円
未就学児は無料

暮らしの民謡を唄う

会津では、祝い事などで人が集まった時に民謡を唄い合う習慣があります。一つの唄を違う唄い手、違う歌詞でリレーしたりして、宴席が盛り上がる様子が昔はよく見られました。嫁にきた女性たちを対象に婦人会で先生を招き、民謡を学ぶ機会もあったそうです。

暮らしの中に息づいてきた民謡をお話とともに聴き唄う、ゆるやかな会を開催します。お茶とおやつを楽しみながら歌い継がれてきた民謡を覚えてみませんか？
聴くだけの方も OK です。

2/21(土)
13:30～15:00

参加費：500 円
(お茶／ケーキ付き)

定員：8 名



視察報告

け入れています。今年度(4月～12月)は見学および視察に来館したのは30団体。

12月、富山県議会、NPO、新郷いきいきクラブなどの皆様が芸術村にご来館いただき、展示の見学や取り組みの紹介、ワークショップを体験していただきました。

写真は富山県議会の皆様です。福島県の西の端、小さな町で「辺境」を「最先端」に変えるヒントがあったと、芸術村の取り組みをとっても興味深くご覧いただきました。



開催報告

米ぬかで床みがき
ワークショップ

12月26日、年末恒例の米ぬかを使った床みがきワークショップが開催されました。年末の恒例となっていますが、元々は新郷中学校時代に米ぬかで床を磨いていた慣例にならったもの。やり方はとても簡単で、米ぬかをフライパンで香ばしく乾煎りして、布に包み、タンポを作ります。それを使って市販の米ぬかワックスと併用しながら、床を磨いていきます。

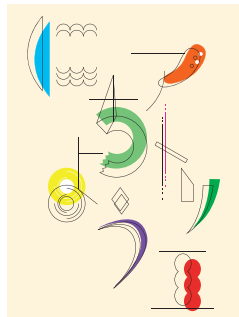
今年も町内外から小中学生が参加してくれました。子ども達はワイワイと話しながら、あつと言う間に長い廊下を磨いていきます。大人もワイワイと話しながら、しかし、日頃の身体のみりがたつてか、途中からスピードダウン。それでも無事に終わることができました。(後日、足腰が筋肉痛になったことは内緒です。)



香ばしく炒った米ぬかを布で包みます。



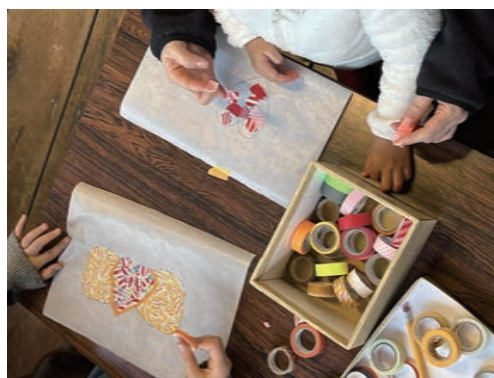
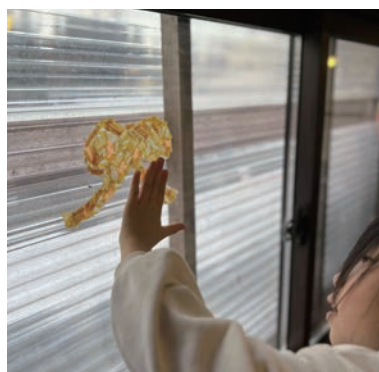
長い廊下もみんなで作業すれば、早い！
おかげで今年もピカピカに。



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

1月のアトリエで使った素材はマスキングテープ。色・柄ともにたくさん種類が、100円ショップでも揃えることができます。しかも、まわりを汚すことなく、手がベタベタになることもなく、指で簡単にちぎれる。絵の具をマスキングテープに置き換えてみたら、小さな子でも簡単に遊びの可能性が広がるのではないかと思います。さらに、マスキングテープは紙でできているので、ガラスなどに貼ると光が透過してとてもきれいです。

ということで、1月のアトリエではマスキングテープを使って窓の飾りを作りました。



1月、子供たちには雪遊びで感覚を整えてほしいのですが、吹雪いていたり、または雪がぐしよぐしよだったりすると、躊躇してしまいます。そんな時に室内でできること、どうにかゲーム・デジタルに頼り切らず（たまには頼ります！仕方ない！）、楽しいことをしてもらえたらなと親としては願うところです。

スタッフおすすめ 今月の本

NATURE FIX

自然が最高の脳をつくる
最新科学でわかった創造性と幸福感の高め方

著：フローレンスウィリアムズ 発行：NHK 出版



この本は、「じぶんカフェ」にて、お読みいただけます。

芸術村スタッフがオススメの本をご紹介します。
本書は、ワシントンに住む著者が世界中を駆け巡り、自然を利用したプログラムの実施者や研究者に会いにいき、「自然が人間の脳や身体にどのような影響を与えるのか」ということを科学的に実証しようと試みた1冊。
例えば、ヒノキの香りが漂う部屋で睡眠をとった被験者は、3日後に免疫に関わるNK細胞が20%増大した、といった事例が示されています。
自然が近くにある西会津では、当たり前にやっていることかもしれませんが、改めて、自然の力に驚きますし、西会津の自然は資源なんだと感じました。



会津の歳取り魚といえば鮭。東の鮭、西のブリと言われるように北海道、東北、関東にかけては、大晦日に鮭を食べます。そして、神様にもお膳を用意します。頭から順番に、頭、エラ、最初の身の部分を「一の切れ」「二の切れ」「三の切れ」と呼び、神様のお膳につけます。

子供の頃は、お歳暮で送られてきた、まるごと一匹の新巻鮭が何匹も廊下に下がっていましたが、最近では切り身になったものをいただくか、買ってくるため、頭がなく、切り身だけになっています。時代を感じる光景でした。



インスタ日記



花咲か爺さんプロジェクト／いつも自然のこと、手わたさのことを教えてくださっている、もっちゃんこと、元次さんの庭に咲いたあやめの種を芸術村で配布中です。あやめの種は乾かして、綺麗に鞘から出してあるので、好きなだけお持ち帰りください。

種のまきどきは、9月～11月だそうです。寒さを避けられいづつでも蒔いていいようです。種を蒔いてから、開花まで2年ほどかかる気の長い植物。楽しみが長く続きますよ。

【HP】 【Instagram】 【Facebook】 【YouTube】



マワリテメクハ
季節の薬膳ノート

「ニラ」

ニラは、起陽草とも呼ばれ、江戸時代は薬草として栽培されていました。どんな気温にも強く、繁殖力があるので年に数回収穫できる頼もしい野菜。
滋養が高く、肝機能低下を改善すると言われています。温性で血行促進するほか、その独特な香りが気の流れを改善し、イライラや気分が塞ぐ時にもおすすめの食材です。

こんな食べ方がオススメ

ニラのシャキシャキ大根餅

【材料】（2人分）・大根おろし 大さじ3・ニラ 1/2束
・刻んだ紅生姜 大さじ1・塩 小さじ1/4
・片栗粉 大さじ2・みりん 大さじ1/2

「つくりかた」

- 1、大根はすりおろし水気をしぼる
- 2、ニラは小口切りにする
- 3、紅生姜はお好みでみじん切りにする
- 4、全ての材料をボールで混ぜ合わせる
- 5、ごま油を熱したフライパンで、片面ずつこんがりするまで焼く

＊ごまや、紅ショウガの代わりに刻んだタクアンを入れてもいいです

ポン酢などをつけて！



【お問い合わせ】tel：0241-47-3200
mail：niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752